



県こうのとり賞



福原美千代さん(津井)

三原地区更生保護女性会副会長として、社会を明るくする運動や青少年の非行防止に尽力されています。また、環境美化や、刺繡などの文化活動にも積極的に取り組まれています。

県くすのき賞



会長 道上久子さん

ボランティアグループ
ミセス親友会

平成元年から社会福祉協議会が実施する給食サービス・調理ボランティアに協力し、福祉施設での外出介助、地域行事のお手伝い、独居老人との交流ボランティアに取り組まれています。

受賞おめでとうございます

全淡スポーツ大会

(8月22日・北淡町)

- ソフトバレー ボールトリムの部で西淡町が優勝



トリムの部で優勝した西淡町チーム

- グラウンドゴルフで西淡町Aが3位

▶ビーチバレーを楽しむ参加者



三原郡4社協が合併調印 1月11日に南あわじ市社協誕生へ

三原郡4町の社会福祉協議会の合併調印式が9月3日、緑町保健福祉センターで行われ、各会長が合併協定、契約書に署名。来年1月11日に「南あわじ市社会福祉協議会」が設立されます。

事務所は新市で緑庁舎となる現緑町役場に置き、現在の各社協事務所が支部へ。支部には地域福祉活動専門員やボランティアコーディネーターなどが配置されます。



▲合併協定に署名する各会長

国体会場・慶野松原コート 熱戦のビーチバーレフェスティバル

のじぎく国体でビーチバレー競技会場になる慶野松原で8月29日、西淡町ビーチバーレフェスティバル2004を開催。地元の小中学生をはじめ、県内外からの参加チームもあり、52チーム約150人が熱戦を繰り広げました。

各部優勝チームは次のとおりです。

●小学校の部

ペコチャンズ (西淡町)

●中学生男子の部

三原中学校2年 (三原町)

●中学生女子の部

五色中A (五色町)

●高校・一般男子の部

牛尾・牛尾 (福崎町)

●高校・一般女子の部

t s u k i (大阪市)



西淡町合併史

最終回

立ち上げる平成の大合併 ——どんなまちを造るのか——

となつた。

紙「こちら合併情報局です」と衣替えした。

ジウム(討論会)が開かれた。
この公開討論会には任意合併協議会長と各町から一名、女性一名の計六名のパネリストが意見発表をし、約五百人が参加した。このシンポジウムは大成功で、ス

国の市町村合併推進 — 館と鞭 —

平成十二年十月、水上郡

六町が法定合併協議会を立ち上げた。この頃、淡路でも合併論議が高まつた。この年、三原郡四町と津名郡六町が、それぞれ合併研究会を設置した。

平成十七年三月までに合併

を果たした地方自治体に対

しては、地方交付税の上乗

せや地域事業債を優先的に

分配するなど優遇措置を設

け、その一方で、合併しな

い自治体には地方交付税の

削減や権限の縮小など、館

と鞭を使って市町村の合併

を強く推進してきた。

その年の四月、地方分権一括法が施行された。国と地方自治体の関係を中心集権から地方分権に変えていくことで、地方自治体の自立を強く促している。努力して伸びる自治体と、のんびりして伸びない自治体と分れる自治体競争の時代

平成十三年に入つて合併の枠組みをめぐつて論争が盛んになってきた。三原郡合併研究会とも洲本市への働きかけで駆け引きがあつたと思われる。

その洲本市は淡路一市論の立場であつたが、三月、津名郡合併研究会の招請に応えて参画し、津名郡・洲本市合併研究会が設置された。この情勢をみた三原郡四町は直に四月二日、いち早く三原郡任意合併協議会を開かれた。七月号より毎月、各町の広報紙への折り込みにより「合併情報ホットライン—三原郡合併協議会だより」を発行し、郡民への情報発信に努めるようになった。この情報紙は、平成十四年四月二十四日、三原郡四町による法定合併協議会の設置に伴い、広報

合併枠組について洲本市には淡路一市論を唱える人が多いた。インターネットを活用するので淡路一市が最もよいという人もいた。社団法人淡路青年会議所内の淡路一市を実現する会が華々しい組織的・継続的な宣伝活動を開始していた。

平成十三年九月、洲本市合併研究会から退会した。最終的に淡路一市だと主張する洲本合併研究会を強く主張する津名郡内の一部落長との意見の対立が表面化した訳である。



▲平成14年4月1日、合併協議会が設置

中淡路合併構想異変 と緑町の事情

その後、各地区住民説明会という手順で、平成十四年三月、三原郡四町の定例議会において「緑・西淡・三原・南淡合併協議会設置」の議案が議決された。四月一日、いわゆる法定協議会が発足した。

その後、各地区住民説明会という手順で、平成十四年三月、三原郡四町の定例議会において「緑・西淡・三原・南淡合併協議会設置」の議案が議決された。四月一日、いわゆる法定協議会が発足した。

三原郡四町の法定合併協議会が設置される少し前、洲本市と津名町、一宮町、五色町が、近い将来には淡路一市をめざすべきだとして、四市町で「中淡路合併構想」を掲げた。緑町では、かねてより三原郡四町合併を主張する人が多いと考える人びとがあつた。平成十四年三月、緑町議会で法定協議会の設置が承認されたにもかかわらず、住民の間から町長リコール運動が起きた。町長が辞職し、八月に町長選挙となつた。三原郡合併を最善と考える住民団体「光と水と緑の会」が支持する三原郡合併派の町長と、洲本市を中心とする中淡路合併派の合併を強く主張する津名郡内の一部落長との一騎打ちとなり、激しい選挙戦となつた。

選挙の結果、四十一票差で新人が当選した。新町長は合併の枠組みについて住民投票条例を制定し、①「三原郡四町と合併をする」、②「洲本市・津名郡三町と合併する」、③「合併しない」の三択方式での住民投票を実施することになった。合

平成十三年十月二十七日、三原郡任意合併協議会は三原町中央公民館大ホールで三原郡合併シンポ



併についての住民投票で全般的にも注目された。

投票日は十一月二十四日と定められた。町長選挙に続く住民投票で緑町民は約九十日間、熱い熱い戦いに巻きこまれた。



住民投票が八日後に迫つた十一月六日、隣りの五色町長の不祥事件で中淡路合併構想も淡路一市論も一挙につぶれてしまった。

緑町住民投票の結果は、三原郡四町合併一九七五票、洲本市含む四市町合併一七六票、合併しない二九四票となり、一九九票の差で、八月の町長選と逆の判定が出了。町長は住民投票の結果を尊重し、三原郡四町合併に対する绿町の態度が明確になるまで、合併協議会は足並み状態であったが、平成十五年十二月六日、三原郡生活文化会館で合併協定調印式が行われ、藤本和弘兵庫県副知事や協議会委員、各町の議員、各種団体役員ら約二百五十名が見守るなか、長江和幸西淡町長、金山和永緑町長、中田勝久三原町長、森紘一南淡町長が合併協定書に調印した。

新しい「南あわじ市」の発足は平成十七年一月十一日と決定した。各町とも閉町と新市へ引継ぎ準備が着々と進みだしました。

新市長選挙は五十日以内に行われる。間市会議員となる。市章も決定した。

(菊川兼男)

併に参画することを表明し、三か年に亘る三原郡四町合併も新市発足に向かって順調に進み出した。新市の名称も、平がな混りの「南あわじ市」と決定した。

合併調印とその後

合併は三原郡生活文化会館が中央庁舎となり、緑庁舎、西淡庁舎、三原庁舎、南淡庁舎の五庁舎となる。緑・西淡・三原・南淡庁舎にはそれぞれ総合窓口が置かれます。

むすび

平成十二年に始った合併論議のなかで、三原郡民は賢明な選択をしたと思われる。三原郡の住民が身近なるとき、人口の数合わせの合併でなく、百年以上にわたる地域の歴史や地理的条件、生活圏、住民の一体感をふまえた「身丈にあつた合併」であつたと考えられる。今後は淡路の三市が協力と競争で発展していくことが期待されている。

合併協議のなかでの各事項の摺り合わせの難しさを考えると淡路一市論には乘れなかつた。大切なことはそれなかった。大切なことは、住民の地域共同社会（コミュニティ）の一体感である。

昭和大合併以後、三原郡が自主合併をめざしてきた実績の上に立つてよい選択をしたのではないかろうか。

お父さんの子育て・家族の子育て ～お父さんの出番ですよ～

お父さんの子育てについて学びましょう。育児期間は、人生のほんの一時期です。子どもをもった幸せを家族と一緒に味わい、育児をエンジョイしていきましょう。

日時 10月16日(土) 午後1時30分～午後3時
場所 西淡町民センター集会室

- 内容
- 講演 「お父さんの子育て参加の仕方」
講師 小崎恭弘氏
(神戸常盤短期大学講師・保育士・社会福祉士)
 - 講演 「子どもの成長ベストショットの撮り方」
(ビデオ&カメラ)
講師 沼田浩孝氏

問い合わせ
西淡町子育て学習センター(☎36-3311内線301)

第9回 松帆公民館まつり

各種同好会の作品展示のほか、お茶席やフリーマーケットなどの催しもありますので、ぜひお越しください。



- ◇日 時 10月3日(日) 午前9時から
◇場 所 松帆活性化センター
◇展示内容 短歌、俳句、暮らしの習字、トールペイントイング ※展示は10月8日(金)まで
◇催 し 物 お茶席・生け花展、手づくり工房(籐手芸)、フリーマーケット、お話しの広場(エプロンシアター、紙芝居、絵本読み聞かせ)

◇問い合わせ 松帆活性化センター(☎36-2137)



情報 かわら版

◆西淡町役場
TEL36-3311
FAX36-3997

◆社会教育センター
TEL36-2027

◆松帆活性化センター
TEL36-2137

◆阿那賀診療所
TEL39-0668

◆伊加利診療所
TEL39-0886

◆国民宿舎慶野松原荘
TEL36-3391

◆万松園
TEL36-2083

◆ゆとりっく
TEL36-5789

◆湯の川荘
TEL39-1126

◆さんさんネット
TEL43-2345

来春開校の辰美小

校歌の作詞を募集

▼応募資格 町内に在住または勤務している方

▼応募方法 A4版用紙に「校歌」1番～3番までの歌詞を記入し、住所・氏名・性別・年齢・電話番号および学生の場合は学校名・学年を明記のうえ、郵送または持参する。

▼募集期間 10月1日(金)～10日(金)

▼審査および決定 辰美小学校建設委員会と専門家で審査する。最優秀作品には3万円相当の図書券、入選作品には1万円相当の図書券が送られる。

▼注意事項 ①作品は作者のオリジナルで未発表のものに限る。②作品の著作権は主催者に帰属する。③作品は必要に応じて修正、補作する場合がある。

▼区域区分図の閲覧場所 淡路県民局まちづくり課（洲本総合庁舎2階）または役場企画課

緑条例区域等の見直しについての意見募集

▼内容 淡路県民局では、適正な土地利用の誘導と、淡路らしい風景や緑の保全と創造のために「緑豊かな地域環境の形成に関する条例（緑条例）」に基づく環境形成区域などの見直しを進めてきました。この度、見直しの素案がまとまりましたので、その内容について、県民の皆さんからご意見を募集します。

▼募集期間 10月1日(金)～12月8日(月)

▼提出方法 任意の様式に意見、住所、氏名を記入し、淡路県民局まちづくり課（〒656-10021洲本市塙屋2の4の5／FAX24・4513／メールawaijikd@pref.hyogo.jp）へ提出してください。

▼問い合わせ 淡路県民局まちづくり課（〒656-3213）

▼対象者 基本的にキーボード、マウス操作ができる方

▼講習コース ①エクセル初級講座、②年賀状を作つてみよう、③カレンダーを作つてみよう、④デジカメに挑戦

▼開催日時 ①10月28日(木)、②11月9日(火)、③12月7日(火)、④平成17年1月11日(火)で、各コースとも午前10時～午後3時

▼応募締切 ①10月15日(金)、②10月27日(水)、③11月24日(水)、④12月24日(金)

▼定員 各コースとも20名。申込多数の場合は抽選。

▼問い合わせ・申し込み 淡路文化会館（☎0799・855・1391）

▼風呂の日（入浴料半額） 10月26日(火)

▼定休日 毎週水曜日

▼スイミングスクールの募集 女性コース、成人コース、ベビーコースは随時入会体験を実施しています。ぜひ、ご利用ください。

▼問い合わせ ゆとりっく（☎36・5789）

▼対象 淡路島在住のガーデニングに興味のある方

▼募集数 60軒程度

▼募集期間 10月1日(金)～11月30日(火)

▼申込方法 任意用紙に住所、氏名、連絡先、庭の特徴を記入し、あわじオープンガーデン実行委員会事務局（〒656-0401三原町市市630の2／FAX42・6457）まで郵送またはFAXして下さい。

県立淡路文化会館 パソコン講習会

受講生の募集

▼問い合わせ つずしお学園事務局（三原郡町村会・☎420-0056）

▼申込方法 任意用紙に住所、氏名、連絡先、庭の特徴を記入し、あわじオープンガーデン実行委員会事務局（〒656-0401三原町市市630の2／FAX42・6457）まで郵送またはFAXして下さい。

▼募集期間 10月1日(金)～11月30日(火)

▼問い合わせ つずしお学園事務局（三原郡町村会・☎420-0056）

▼申込方法 任意用紙に住所、氏名、連絡先、庭の特徴を記入し、あわじオープンガーデン実行委員会事務局（〒656-0401三原町市市630の2／FAX42・6457）まで郵送またはFAXして下さい。

▼募集期間 10月1日(金)～11月30日(火)

▼問い合わせ ゆとりっく（☎36・5789）

▼対象 淡路島在住のガーデニングに興味のある方

▼募集数 60軒程度

▼募集期間 10月1日(金)～11月30日(火)

▼申込方法 任意用紙に住所、氏名、連絡先、庭の特徴を記入し、あわじオープンガーデン実行委員会事務局（〒656-0401三原町市市630の2／FAX42・6457）まで郵送またはFAXして下さい。

▼募集期間 10月1日(金)～11月30日(火)

▼問い合わせ ゆとりっく（☎36・5789）

▼対象 淡路島在住のガーデニングに興味のある方

▼募集数 60軒程度

▼募集期間 10月1日(金)～11月30日(火)